

平成30年度 明石市地域公共交通会議（第2回） 議事概要

1	日時	平成30年11月21日（水）	13時30分	～	15時20分
2	会場	明石市役所 議会棟 第2委員会室			
3	会員数	13名出席（1名代理）			
4	その他	なし			

協議事項等

【1】開会(事務局)

【2】挨拶(会長)

【3】協議事項

1. 神姫バス 平成31年4月のダイヤ改正についての協議 [資料1]

神姫バス株式会社より、平成24年3月に明石市バスから移譲を受けたバス路線について、以下のとおりダイヤ改正案等の説明があり、協議を諮った。

①明石駅～大道町線の見直しについて

①-1 明石駅～市民病院・大道町循環線の便数見直し

①-2 大道町・市民病院～明石市役所・明舞団地への便数見直し

①-3 大道町線での、和坂1丁目の停車廃止検討

②明石駅～藤江周辺線の見直しについて

②-1 明石駅～藤江周辺線の便数見直し

②-2 藤江方面～明石市役所への便数見直し

【主な意見・質問】

・藤江駅～明石市役所を利用する際、乗り継ぎの料金の差はいくらか。

⇒(神姫バス)現金であれば210円。Nicopa利用なら60分以内で80円の乗り継ぎ割引がある。

・不採算で運行継続できないのは理解できる。地域でも利用促進を考えて行かないといけない。まちづくり協議会の役員会でも呼び掛けていく。

⇒(神姫バス)明石市地区バス事業者協会では、バス事業者と市で負担し、転入者に「お試し乗車券」を以前より配布しているが、今年度から4ヶ月健診受診者、免許返納者にも対象範囲を拡大し、利用促進を図っている。

⇒内容について、異議なく承認

2. 明石市コミュニティバス(たこバス)の運行について [資料2]

たこバス運行の経緯および平成29年度の利用実績について報告があった。

山陽バス運行のたこバス路線の一部について、平成31年4月より運行事業者を変更することについて協議を諮った。

【主な意見・質問】

- ・車両はどうなるのか。
- ⇒（山陽バス）車両の大きさは変わらない。山陽バスもルートを引き継ぐにあたり、変更後の事業者の乗務員に対しても指導教習は行っていく。
- ・バス会社の丁寧な対応についても引き継ぎ事項としてほしい。
- ⇒（山陽バス）当社以上の対応になるよう引き継いでいきたい。

⇒内容について、異議なく承認

【4】報告事項

1. 神姫バス報告事項

[資料3]

神姫バス株式会社から、バス業界の現況や利用促進の取り組み、高丘線、魚住線の利用状況について報告があった。

【主な意見・質問】

- ・バス路線を維持するために必要な便当たり 30 人というのは、バス車内ではどのような状態になっているのか。
- ⇒（神姫バス）車内の座席がすべて埋まり、何人か立っている状態で 30 人くらいとなる。
- ・魚住線は神姫バスが単独で運行しているのか。また、利用が少ないと休止も検討しているのか。
- ⇒（神姫バス）魚住線のうち明石市内は、重複してたこバスが運行している。休止についても検討しており、今後明石商業高校や明石市とも協議を進めたいと考えている。
- ・車両を小型化すれば経費が抑えられるのではないか。
- ⇒（神姫バス）朝と夕のラッシュ時に多くの方に利用いただくことで、路線を維持している。限られた台数の中で効率的に配車するため、大型車を中心に運行している。また、小型でも大型でも人件費は同じであり、それほど経費の削減は図れない。

2. 山陽バス明石線の運行状況について

[資料4]

山陽バス株式会社から、山陽バス明石線 61 系統の利用状況について報告があった。

【主な意見・質問】

- ・利用状況が悪い路線について利用促進を図っていくのか。
- ⇒（山陽バス）いろいろな意見やアイデアを頂きながら多くの方にご利用いただけるような取り組みを進めていきたい。

【4】閉会(事務局)